

郷土・福岡に脈打つ「日本人の誇り」を貫いた人間ドラマを語ります!



第16回

芸道40年記念

神田紅独演会

金印スピリッツを伝えます

昼の部
創作講談

『**真実の柳原白蓮**』
没後50年、伊藤伝右衛門邸一般公開から10年

夜の部
創作講談

『**人間尊重の出光佐三**』
宗像・沖ノ島、世界遺産登録の恩人



この事業の収益金の一部は九州北部豪雨救援金として使われます。

芸道40年記念
DVDを制作いたします。
料金4,000円(送料込)
お申込みは
金印倶楽部へ

昼夜共通

第一回の義士祭は、ここ福岡から始まった!

古典講談 **『女たちの忠臣蔵『南部坂雪の別れ』』**

芸道40年
記念映像

『**芸道40年の軌跡**』

金印亭(福岡紅塾)
リレー講談

平尾山荘の勤皇歌人 **『野村望東尼』**

◆とき/平成29年

10月20日(金)

昼の部 13:30開演(13:00開場)

夜の部 18:00開演(17:30開場)

◆ところ/エルガーラホール・8階大ホール

福岡市中央区天神1-4-2エルガーラ北

新しくなったエルガーラホール
ELGALA

おもてなし
最新のアクセス、安心・安全、きれい・親切

◆席料/一般 前売り**4,000円** 当日4,500円 学生 前売り**2,000円** 当日2,500円 ※全席自由

チケット
販売

■直接購入・チケットぴあスポット、セブンイレブン、サークルK・サンクス Pコード:481-010
・ファミリーマート e+ (イープラス) <http://eplus.jp/>

■郵送希望 NPO法人 金印倶楽部へお申し込み下さい。TEL (092) 737-5430 FAX (092) 737-5432 mail:kinin@kinin.com

ご挨拶

昭和54年、二代目神田山陽師匠との運命の出会いにより講談の世界に身を投じて38年。それ以前の女優時代も入れると今年で芸道40年を迎えることと相成りました。今日まで活動を続けてこられましたのは、ひとえにお支えくださった皆様方のおかげでございます。心より感謝申し上げます。

今回は40年目の節目にあたり、特に私自身に縁の深い作品を語らせていただきたいと存じます。

古典講談は、赤穂義士伝より女たちの忠臣蔵として有名な「南部坂雪の別れ」。

そして創作講談は、昼の部では、飯塚で歌人としての才能を開花させた「真実の柳原白蓮」を。夜の部では、世界遺産登録の立役者とも言うべき、神宿る島宗像の恩人「義商・出光佐三」を語らせていただきます。

今年7月、弟子の神田紅葉が他界致しました。命がけの真打披露興行を成し遂げた姿は、何事も決して諦めず希望を持ち続けることの大切さを教えてくれました。

神田紅は、これからも挑戦を続けて参ります。末永くご支援賜りますようお願い申し上げます。



神田紅プロフィール

福岡出身。早稲田大学中退。文学座附属演劇研究所を卒業後、一旦女優となるも、二代目神田山陽師匠に出会い弟子入り。1989年真打昇進、古典と同時に創作講談や芝居講談を手がける。明るく解かりやすい芸風で

人気者となり、八面六臂の大活躍。2008年、小惑星(12769)が「kandakurenai」と名付けられる。日本講談協会会長 NPO法人金印俱樂部特命大使

<http://kandakurenai.com/>

演目

◆ 芸道40年記念映像 『芸道40年の軌跡』

中原鐘子の芸名でデビューした女優時代から、1979年に神田紅となつて講談界に新風を巻き起こし、様々な創作講談に挑戦し続けてきた40年の軌跡を映像にまとめてみました。

◆ 神田紅

◆ 福岡がブーム呼んだ忠臣蔵

◆ 『南部坂雪の別れ』

「忠臣蔵」が国民的ブームになったのは、幕末に福岡市中央区地行生まれの史論家福本日南が火付け役。一回、二回の義士祭は福岡崇福寺で開催され東京泉岳寺に継承されました。奇しくも、福岡市南区の穴観音がある興宗禅寺には、泉岳寺より立派な四十七士の墓があり、毎年十二月十四日には義士祭が開催されています。数ある赤穂義士伝の中から、女たちの忠臣蔵として有名な演目。

◆ 仲入り

◆ 金印亭(福岡紅塵)リレー講談

◆ 高杉晋作らと幕末を駆け抜けた歌人

◆ 『野村望東尼』

幕末、この国はどうなっていくのか…すぐ近くまで新しい時代が来ていた。晩年の6年間で人生を変え、若き志士たちの母として生き抜いた勤王歌人。平尾山荘の尼が伝えた高い志とは!?

◆ 神田紅

◆ 筑紫の女王と呼ばれ恋に生きた歌人。没後50年の今、伝えたい

◆ 『真実の柳原白蓮』

華族の娘に生まれ、筑紫の炭鉱王・伊藤伝右衛門の妻となり、九州にやつてきた白蓮。誇り高く精神に重きを置く白蓮に対し、叩き上げて男気あふれる伝右衛門。そこに7歳年下の宮崎龍介がやつてくる……。白蓮、伝右衛門、龍介、それぞれの魂がほとぼりします。

◆ 宗像・沖ノ島、世界遺産登録の恩人

◆ 『人間尊重の出光佐三』

出光興産の創業者で、人間尊重、士魂商才、武士道経営、大家族主義を貫いた佐三は、宗像大社をこよなく愛し、沖ノ島の発掘調査に尽力しました。義理人情に篤い石油王の人生物語を熱く語ります。

夜の部 19:25

昼の部 14:50

14:25
19:00

13:55
18:25

13:30 昼の部
18:00 夜の部

泣いて、笑って… 紅講談は感動の人間ドラマ、語り続けて40年!